

「就職氷河期世代活躍支援ひろしまプラットフォーム事業実施計画」の令和2年度実績及び新規支援策

1 不安定な就労状態にある方

◎広島県における正規雇用者を3年間で4,800人増やす※ことを目標とし、不安定な就労状態にある方への就職支援を強化する。※国の目標に準拠

【目標】

【主な取組概要及び実績】

【KPI】

- 【マッチング・相談による支援】
  - ・ハローワーク（広島）に就職氷河期世代支援窓口を設置し、チーム支援を実施（労働局）  
令和2年度実績：令和2年4月1日設置  
就職件数 1,829件（R3.2末現在）
  - ・氷河期世代を対象とした限定求人・歓迎求人の実績  
限定求人153人 歓迎求人364人（R1.8~3.2）
  - ・各ハローワークにおけるセミナー・ミニ面接会の開催（労働局）  
令和2年度実績：開催数273回 参加者数1,157人
  - ・民間委託による成果連動型の教育訓練、職場実習等を実施（労働局）  
令和2年度実績：支援対象者数28人 就職件数5人
  - ・民間委託による企業説明会や就職面接会の実施、幅広い周知広報の実施による気運の醸成（労働局）  
令和2年度実績：Web企業説明会（R3.2.20）  
参加企業数6社 参加者数18人  
Web企業訪問ツアー（R3.3.6/R3.3.13）  
参加企業数4社 参加者数32人
  - ・ひろしましごと館における就職支援等（県）  
令和2年度実績：相談件数332件 就職件数26件
  - ・民間委託による適職診断、合同説明会等の開催（経産局）  
令和2年度実績：企業説明会（R3.2.6）  
参加企業数6社 参加者数23人
- 【職業能力開発等に向けた支援】
  - ・短期資格等習得コースを創設し、安定した就労につなげる支援を実施（労働局）  
令和2年度実績：開講コース3件（広島県内）  
機構：施設内開講コース31件（うち企業実習付き4件）
  - ・求職中の非正規雇用労働者の方が働きながら受講しやすい夜間・土日やeラーニング等の訓練の提供（労働局）  
ハローワーク窓口において在職者の訓練ニーズの調査を実施  
求職者支援訓練介護分野短期2コースの設定
- 【職場定着・企業向けの取組】
  - ・特定求職者雇用開発助成金・トライアル雇用助成金の積極的な活用（労働局）  
令和2年度実績：特定求職者雇用開発助成金 3件  
トライアル雇用助成金 40件  
\*35歳~44歳の申請件数
  - ・企業内での実習（OJT）と座学（OFF-JT）による訓練機会の提供を行うことで非正規から正規社員の転換を促進する「人材開発支援助成金」の要件緩和（労働局）  
令和2年度実績：人材開発支援助成金 申請16件 計画届71件

○正規雇用者について、3年間で4,800件以上を目指す。

2 長期にわたり無業の状態にある方

◎地域若者サポートステーションを中心に、本人やその家族の希望に応じ、就労その他の職業的自立に繋げることを目指す。

地域若者サポートステーションの取組強化（労働局・県）

【相談・各種プログラム等による支援】
・支援対象年齢が49歳までに拡大されたことを踏まえた相談体制の整備
・働く意欲向上等に向けたプログラムの提供

【関係機関へのアウトリーチ】
・福祉機関等への出張相談の実施

【職場体験の機会の確保】
・職場体験等の受け入れ先の拡大

【職場定着・ステップアップ支援】
・中・長期的なキャリア形成のための資格取得等技術向上支援に向けた個別相談や懇談会等の実施

令和2年度実績（目標値）

広島地域若者サポートステーション
支援対象者数：160人（160人）
就職件数：138人（96人）

ひろしま北部若者サポートステーション
支援対象者数：94人（80人）
就職件数：62人（48人）

ふくやま地域若者サポートステーション
支援対象者数：77人（80人）
就職件数：55人（48人）

○求職活動に踏み出すための支援を行い、3年間で就職件数576件以上（サポステ利用者）を目指す。

3 社会参加に向けた支援を必要とする方

◎ひきこもり状態の人や家族などの状況に合わせた相談支援体制を整備するとともに、全市町で就労準備支援事業を実施し、社会参加に向けた支援を行う。

【支援対象者の把握・相談支援の充実】
・支援対象者の把握・分析方法の検討（県）
・市町における支援体制の充実（県）
居場所づくり、相談体制、アウトリーチ機能を備えた生活困窮者自立相談支援事業等の充実
・支援者の資質向上のための研修の実施（県）

【本人の状況に応じた柔軟な働き方の機会の提供】
・自立相談支援機関による就労支援や就労準備支援等の充実（県）

【地域ネットワークの形成・活用】
・市町の取組の好事例等の情報収集や情報提供（県・労働局）

令和2年度実績（目標値）

相談支援体制の整備
・生活困窮者自立相談支援窓口：全市町
・広島ひきこもり相談支援センター：県内3か所

地域の支え合いコーディネート機能強化研修の実施

就労準備支援事業（生活困窮者自立支援）：8市町（目標：R4年度 全市町）

○ひきこもり状態の人や家族などの状況に合わせた相談支援体制を整備するとともに、就労準備支援事業（生活困窮者自立支援制度）を全市町で実施する。（R2見込8市町）

新規支援策

【不安定な就労状態にある方への支援】

- ・就職氷河期世代支援窓口の増設（ハローワーク広島西条：R3.3.1）【労働局】
- ・就労体験を通じた業種・職種理解の促進のための職場実習・体験の実施（年間目標：15件）【労働局】
- ・求人ニーズの掘り起こしとコーディネート機能の強化【県】
- ・紙屋町シャレオ内に相談窓口を設置し、就職氷河期世代等のマッチングを図る【広島市】

【長期にわたり無業の状態にある方への支援】

- ・ひろしま北部若者サポートステーションの事業規模の拡大